

いいたて 10

平成30年10月号
No.656

やってみなきゃわからん
一度きりの人生だから



特集1

飯舘村にようこそ！

4つの移住ストーリー

特集2

平成29年度決算報告

ほけんとふくし

飯舘村敬老会・村内コミュニティバス再開 ほか



今の特集

今年の春から夏に村に移住した4人の方に、移住のきっかけや、村の魅力について話を聞きました。



大いなる田舎
までいライフ
いいたて

飯舘村にようこそ!

移住・定住・交流事業の現在

平成29年4月以降の飯舘村への移住者は、9月1日現在で40世帯・71人にのぼります。移住のきっかけはさまざま、復興事業や支援のための居住も、飯舘村で暮らしていこうと人生の舵を切った移住もあります。

人生の場面転換ともいえる移住は、大きなチャレンジ。どんなに準備を重ねてきても、暮らしをつくっていく過程は簡単ではないはず。飯舘村を選んで、または縁あって移住して下さった方々を、村全体であたたかく迎えて応援していきましょう。

移住・定住・交流事業には 何より村民の皆さんの力が必要です

村は、今年度の最重点事業に「移住・定住・交流事業」を掲げ、交流人口・定住人口の増加に力を入れています。6月には「移住定住交流推進対策室」を新設し、本格的な取り組みをスタートさせました。この対策室の愛称は「eライフセンター」で、事務所は役場西側の「ビレッジハウス美園社」内にあります。

9月末には、移住定住のしおり「までいな暮らしへの誘い」が完成しました。しおりは、村に思いを寄せてくださる方や、移住に意欲のある方へ、村の現状や、村の暮らしの魅力、移住に関する補助事業などをお伝えする内容です。



移住定住のしおり「までいな暮らしへの誘い」。10月中旬から配布がスタートします。
【eライフセンター ☎0244 (42) 0310】

いいたて四季彩景 ● 稲穂の波



稲刈りの予定を耳にするようになった9月下旬。そよ風にスイングする黄金の稲穂（八和木地区）



CONTENTS 目次

- 3 特集1 飯舘村にようこそ! 移住事業の現在
- 6 復興を歩む ラオスとの交流
- 8 報告のページ 9月議会定例会
- 10 特集2 平成29年度決算報告
- 14 ほけんとふくし 飯舘村敬老会 ほか
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 19 ちょっと昔のいいたてライフ ほか
- 20 お知らせ
- 21 入札結果 ほか
- 22 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのほけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

特集でお話を聞いた移住者の一人、伊集院博さんは、ソリダコの花の栽培に取り組んでいます。根付くまではたっぷりの水やりを欠かせないため、夏場は1日に何度も水を散布しました。初めての畑で花を咲かせて来年にもつなげられるよう、もくもくと作業する伊集院さんでした。



● 表紙のおはなし ●

教えてください
あなたの移住物語

移住のきっかけは何ですか
飯舘村の住み心地はいかがですか

今年の春から夏にかけて、村で暮らし始めた4人の人に、話を聞きました。4つの移住ストーリーは、きっかけも、村との出会いも、人それぞれ。移住者の皆さんが新しい視点で見つめる「村のよさ」も、何だか新鮮です。

機動力に

**「来ちゃった」と笑っちゃう
しなやかな感性を**

夫と共にアメリカに渡り、一男一女を育てながらフラワーアレンジメントを学び、カリフォルニアで13年間、生花店を営みました。「そろそろ日本で暮らしたい」。業界誌のデザインコンテストで全米1位を獲得したことも節目と感じられました。34年ぶりですが、身での帰国。「周りは驚くし、家族は迷惑かも知れませんが」「自然な気持ちの変化だったと言います。飯舘との出会いは、移住先を相談した恩師からの情報。「私の記憶に残る、古き良き日本」と重なって」。下見に訪れた村営住宅は、2階から見ると里山の風景が心に染みしました。

そして、復興拠点の道の駅で働く新しい日々が始まりました。応援を惜しまない家族や友人を村で迎えることも新鮮な喜びです。「ここで友達をつくりたい。そして家族の故郷にできたらいいですね」。



宇沢 千賀子さん 7月移住



訪ねてきた友人(右端)と高橋日出夫さん夫婦の花栽培を見学。「品質が素晴らしい!」



伊集院 博さん 6月移住



松塚地区に畑を借り、ソリダコの栽培に取り組んでいます

人にも伝えられれば。秋の出荷が終われば、冬が来る前に里帰り。春先には村に戻って、2年目は春季の出荷も目指します。「飛行機だからね、苦にならない」。

畜産や花の生産が盛んな島は、飯舘と似ている所があると言います。「人の交流が生まれて、農業も教え合えたらいいなあと思ってるよ」。

1700キロメートルをひとつ飛び
南の島との2地域居住
「一度きりの人生だもの」



ソリダコ

**大好きな自然と
のどかな景色と**

あたたかい村の人達に囲まれて

須賀川市出身の國分さんは、「食べることが大好き」な村の栄養士。小学生の時、愛読していた「給食便り」を給食センターの栄養士がつくっているのと知り、一途に現職を目指しました。そして就職試験の下見に訪れた飯舘村の、のどかな雰囲気と一目惚れ。「ここで、食から健康づくりに携われたら」と思い描いたそうです。

子ども園の給食献立をつくり、集会で健康講話を行い：栄養士になってからの約半年間はあつという間に過ぎました。「村の人のあたたかさを感じながらやっていて、昔ながらの食べ物を知っている人と若い人とが、日常的に話せる場所をつくられたらいいなと思っています」。まだ味わっていない飯舘牛の復活も楽しみにしているそうです。

國分 志保理さん 3月移住



大垣内 力雄さん 7月移住

若い頃は「渡り農業者」として全国を渡り歩いた北海道生まれの大垣内さん。自然農法提唱者の故・福岡正信さんに師事していた時期もあります。「百姓が好きなんです」。移住したこの地でも、生い茂った笹竹やクズの葉を刈って、「から畑をつくりました」。

「皆さんが野菜や苗を分けてくれて」。畑の周囲に挿し木したアジサイの芽吹きに感動、夕暮れ時には空の移ろいに見とれ：「何もない所からつくる暮らしに、深い喜びを感じています」。

地区の作業や集会にも顔を出し、「がきさん」と呼ばれるようになりました。「村とご縁をいただいた。助けられたり助けたり：自分ができる事は小さいが、ここで皆さんと共に生きていきたい」。

いただいたご縁に感謝
百姓を動かすのは
「感動」なんです

移住物語は、移住定住のしおり「までいな暮らしへの誘い」の中でも紹介しています。新しい村づくりを共に歩む仲間として、村民と移住者の皆さんの間に、より豊かな関係が築かれていきますよう。村も力を尽くしてサポートしていきます。

復興を歩む

vol.41

ラオスとの交流



飯舘村とラオス・ドンニヤイ村 交流の軌跡

- 平成21年9月 小学校での出前講座
「ラオスに学校を贈ろう」までいプロジェクトをスタート
- 平成22年2月 教育長らが現地を視察
- 平成22年11月 中学校建設支援金を贈呈（第1回）
ドンニヤイ中学校 建設着工
- 平成23年2月 英訳した絵本を現地に届ける
- 平成23年3月 東日本大震災
ドンニヤイ村から寄付やメッセージが届く
- 平成24年2月 ドンニヤイ中学校竣工
開校式が行われる
ドンニヤイ村の村人達が飯舘村のために祈る
- 平成24年以降 ドンニヤイ中学校が地域の基幹校に
- 平成28年10月 ドンニヤイ中学校の卒業生代表が来村
- 平成29年11月 復興「ありがとう」ホストタウンに登録
- 平成30年8月 ラオス・オリンピック委員会が来村

村立学校エリアに到着し、飯舘中学校の生徒らの歓迎を受ける視察団。前列中央右側がラチャンタブーン委員長。同左側がエスコートする和田節子校長。視察団の一行はランチルームで給食を食べ小中学生と交流。認定こども園でも園児と触れ合いやさしい笑顔を見せていました。

8月30日、東南アジアのラオスから、同国のオリンピック委員会が来村し、スポーツ公園や宿泊体験館「きこり」などを視察。センドゥアン・ラチャンタブーン委員長が、村を2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地の一つにしたいと意向を表明しました。

ラオスと村との交流は、震災前から続いています。村は、子ども達が世界に目を向けるきっかけにしようと「ラオスに学校を贈ろう」までいプロジェクトに取り組んでいました。始まりは、平成21年の小中学校での出前講座で、「アジア教育友好協会」理事で建築家の佐川旭さん（現在はまでい大使も委嘱）に、ラオスの教育環境について話してもらいました。

そこで、自分達が当たり前のよう感じていた学習環境がとても恵まれたものであると気づいた子ども達。「ラオスに学校を贈ろう」と、全国にふるさと納税を通じた寄付を呼びかけ、募金活動も始めました。週1回弁当を持参する「弁当の日」運動も行い、その分の給食費で、学校近くに井戸も掘ることになりました。

支援先となったドンニヤイ村も、家族や地域が助け合って暮らす「までい」な村。雨季にはぬかるむ土間の教室で、子ども達が瞳を輝かせて学んでいました。同年11月には、それまでに集まった支援金を元に、現地で建設工事がスタート。23年2月には、飯舘中生が英訳した絵本が、ドンニヤイ村に届けられました。「子ども達がラオスを通して世界を学び、自分自身を見つめ直すことができる」。手応えをもって活動が進む中で、あの震災が起こりました。

ドンニヤイ村の人々は、飯舘村のために祈り、できる限り力になろうとお金を出し合いました。お金を出せない人は米を、米も出せない人はニワトリをお金に替えたそうです。ドンニヤイ村からの義援金は励ましの言葉と共に人づてに村に届きました。

そして、ドンニヤイ中学校の新校舎は、平成24年に完成しました。震災後の混乱が続く中、村も何とか約束を果たすことができました。さらに4年後の28年には、ドンニヤイ中学校の卒業生代表が来村。飯舘中生らと感謝を伝え合い交流しました。

そして今年、村は、東日本大震災の被災自治体が支援を受けた国々と交流する「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録されました。今後さらに詳細を協議し、議会の承認を経て受け入れが決定すれば、来年度からは、事前合宿の受け入れについても本格的な準備が始まります。

平成30年 第6回 飯舘村議会定例会



今議会で可決
された議案など
(紙面の都合上、一部省略しています)

平成30年度一般会計補正予算

平成30年度国民健康保険
特別会計補正予算

平成30年度介護保険
特別会計補正予算

平成30年度後期高齢者医療
特別会計補正予算

平成29年度一般会計歳入歳出
決算認定について

平成29年度国民健康保険
特別会計歳入歳出決算認定に
ついて

平成29年度簡易水道事業
特別会計歳入歳出決算認定に
ついて

平成29年度農業集落排水事業
特別会計歳入歳出決算認定に
ついて

平成29年度介護保険特別会計
歳入歳出決算認定について

平成29年度後期高齢者医療
特別会計歳入歳出決算認定に
ついて

北風と太陽基金条例

使用料条例の一部を改正する
条例

村営住宅条例の一部を改正す
る条例

村営住宅管理条例の一部を改
正する条例

公益的法人等への職員の派遣
に関する条例の一部を改正す
る条例

飯舘村公の施設の指定管理者
の指定の続き等に関する条
例の一部を改正する条例

飯舘村老人福祉施設設置条例
を廃止する条例

村長等の給与及び旅費に関す
る条例の一部を改正する条例

土地建物の取得について

白石第2住宅改修工事請負契
約について

営農再開支援水利施設等保全
事業（飯舘西部その1）農業
用排水施設等補修工事（取
水堰補修）町堰地区請負契約
について

農業基盤整備促進事業（飯舘
西部その2）農業用排水施
設等整備工事（関根・松塚地
区外1）請負契約について

教育委員会委員の任命につき
同意を求めることについて

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

帰還困難区域（長泥地区）の 特定復興再生拠点整備関係

除染による除去土壌等の再生
利用を図るため、環境省が8月
27日「長泥地区環境再生事業運
営協議会」を設置しました。

本会は、村、長泥地区住民代
表及び同地区周辺の行政区役員
代表、村内農業有識者、そして
学識経験者等13人の委員で構成
されています。会では、再生資
材化した除去土壌の検証と、課
題等について、村、地元住民、
専門家等から意見を聞き、安全
かつ安心できる事業とするため
に設置されました。

村としてもこの事業が、長泥
地区の復興・再生に大きく寄与
できるよう、また一人でも多く
の方が帰還でき、以前のような
活気ある地域づくりが可能とな
るよう地元住民、国、県と緊密
に連携し取り組んでいきます。

仮設・借上げ住宅の 家賃支援事業の終期

8月27日、県において「帰還
困難区域」の家賃支援を平成32
年3月末で終了することが公表
されました。また、「帰還困難
区域以外」については、今年3
月に県から、平成31年3月末で
終了する旨の説明がありまし
た。今回、改めて県より家賃支
援についての終期の公表があり
ましたので、入居者に対し丁寧
に説明し、周知徹底を図ってい
きます。

なお、事情によってどうして
も退去できない村民に対して
は、村内（草野小学校東側の分
譲宅地予定地内）に、県から仮
設住宅の払い下げを受け、国か
らの全額補助を受けて災害公営
住宅を20戸建設する計画です。
住宅の完成は、来年5月から
6月頃です。特別な事情のある
村民については、この災害公営
住宅に入居できるよう取り組ん
でいきます。

おかえりなさい補助金

引越し費用としてスタート
したおかえりなさい補助金は、
8月末日現在で330件の申請
がありました。

村民の帰還状況について

8月1日現在の村への帰還者
は366世帯で766人、震災
後の転入者は65人です。これに、
未避難者といいたてホームの入
所者を合わせ、村内の居住者は
446世帯で875人です。

村内農業関係

7月末までで、和牛繁殖農家
が、肥育・繁殖一貫経営1軒を
含む7軒になり、村内で飼養さ
れている和牛も、約140頭ま
でに増加しています。

また、昨年度から村内での生
産が始まったカスミソウは、1
地区1軒を加えた2地区5軒の
花卉農家により、6月から本年
分の出荷が始まり、花卉市場で
高値で取り引きされています。

いいたて村の道の駅までい館

昨年8月12日にオープンして
から7月末までのレジ客数は、
までい館が9万2,755人、
セブンイレブンが26万5,09
8人となっています。

教育関係

7月26日と8月8日の2日
間、村教職員を対象とした研修
会を開催しました。研修会では、
村アドバイザーの佐川旭氏、新
宿調理師専門学校の上神田梅雄
校長に講演いただきました。

夏休み中の中学校では、今年
も、中学生の学力の定着と苦手
教科の克服、希望進路の実現を
応援するため、中学校を会場に
「夏の学習会」を開催しました。
昨年に引き続き、花まる学習会、
中学校の先生方に協力いただき
ました。

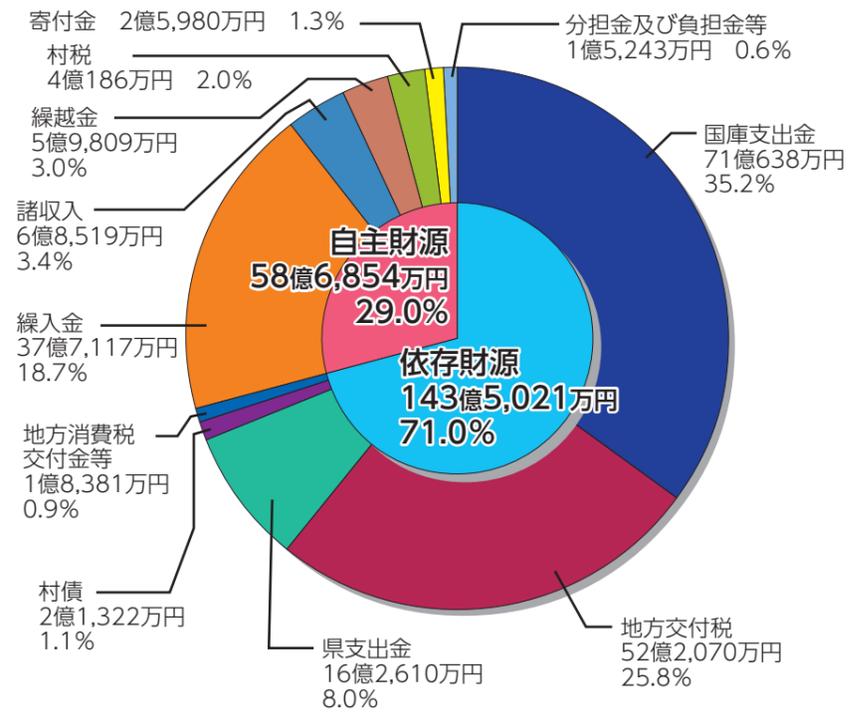
また、5年目を迎えた上智大
学との交流事業により、14人の
上智大生も学習会支援に関わっ
てもらい、個別指導による学習
の充実を図りました。

平成29年度 飯館村 決算報告

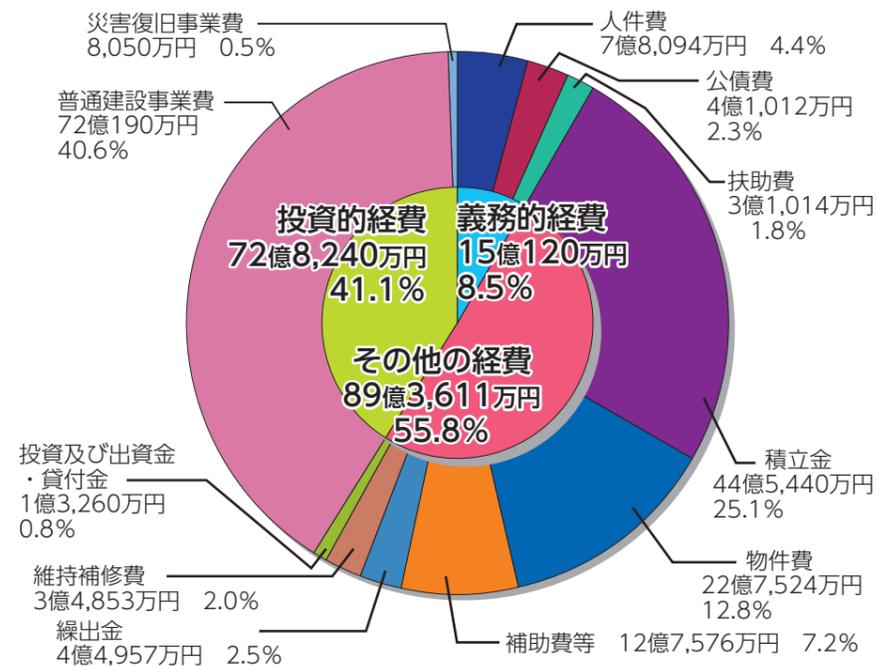
飯館村における平成29年度各会計決算がまとまり、9月定例議会で9月14日に行われた議案審議において承認されました。本村の一般会計歳入総額は202億1,875万円、歳出総額は177億1,971万円です。24億9,904万円の黒字決算。歳入、歳出ともに過去最大規模となりました。

昨年度に比べ、歳入は91億536万円増額、歳出は74億441万円増額となりました。増額の原因は、歳入では、福島再生加速化交付金、震災復興特別交付税、帰還環境整備交付金基金繰入金等の復興関係の交付金等の増額。歳出では、スポーツ公園整備工事、学校等再開整備事業工事、道の駅「までい館」建設工事等により増額となりました。昨年度の村政の動きと、一般会計・特別会計の主な内容等をお知らせします。
(金額は端数処理をし、万円単位にしています)

歳入 202億1,875万円



歳出 177億1,971万円



平成29年度に
村民1人あたりに使われたお金

305万389円

※一般会計目的別歳出決算額
177億1,971万円
人口5,809人 (平成30年4月30日現在)

総務費
村全般企画・管理に



1人あたり
136万1,905円

教育費
学校教育の充実に



1人あたり
76万1,688円

農林水産業費
農林業復興のために



1人あたり
32万1,268円

衛生費
清掃・予防衛生に



1人あたり
18万309円

民生費
福祉増進のために



1人あたり
17万2,397円

土木費
道路や橋の整備に



1人あたり
10万3,455円

公債費
借入金の返済に



1人あたり
7万601円

消防費
消防・防災に



1人あたり
3万6,418円

商工費
企業立地支援などに



1人あたり
2万9,991円

議会費
議会運営などに



1人あたり
1万985円

※その他 (諸支出金・労働費) …… 1人あたり **1,372円**

村各特別会計の決算状況 ※()内は前年比

国民健康保険特別会計

歳入：14億3,516万円 (3.6%減)
歳出：13億7,257万円 (0.6%増)

介護保険特別会計

歳入：10億3,834万円 (7.8%増)
歳出：9億4,657万円 (4.4%増)

簡易水道事業特別会計

歳入：1億9,888万円 (61.2%増)
歳出：1億9,858万円 (98.5%増)

介護サービス事業

歳入：554万円 (4.3%減)
歳出：554万円 (4.3%減)

農業集落排水事業特別会計

歳入：1億378万円 (120.7%増)
歳出：1億348万円 (121.5%増)

後期高齢者医療特別会計

歳入：2,834万円 (19.1%増)
歳出：2,834万円 (19.1%増)

村役場職員の給与などを公表します

飯館村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、人事行政の運営等の状況について公表します。 **問** 総務課総務係 (☎ 0244-42-1611)

○職員数の状況 (各年4月1日時点)

		職員数		対前年増減数	
		平成29年	平成30年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	2	2	0
		総務	19	18	-1
		税務	5	5	0
		民生	5	9	4
		衛生	11	10	-1
		労働	0	0	0
		農林水産	4	6	2
		商工	2	3	1
		土木	6	6	0
	計	54	59	5	
	教育部門	9	10	1	
	小計	63	69	6	
公営企業等会計部門	その他	7	6	-1	
	小計	7	6	-1	
合計		70	75	5	

※職員数は、一般職(嘱託職員及び臨時職員を除く)に属する定員管理上の職員数です。

○職員の平均年齢、平均給料月額 (平成29年4月1日時点)

平均年齢	平均給料月額
39.5歳	323,825円

○職員の初任給の状況 (平成29年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	183,400円
	高校卒	150,400円

○人件費の状況 (普通会計平成29年度決算)

住民基本台帳人口 (平成30年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
5,880人	177億1,971万円	6億8,396万円	7億8,094万円	4.4%

○職員給与費の状況 (普通会計平成29年度決算)

職員数 A	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B
69人	2億8,098万円	8,985万円	1億1,526万円	4億8,610万円

※職員手当には、退職手当を含んでいません。

※職員数は、平成30年4月1日現在の人数です。

※給与費については、再任用職員(短時間勤務)の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

○職員の手当の状況

期末手当・勤勉手当 (平成29年度)	退職手当 (平成29年4月1日時点)		
<ul style="list-style-type: none"> ・1人あたり平均支給額 144万2,000円 ・支給割合 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.8月分 (参考: 国期末手当2.60月分 勤勉手当1.8月分) ・加算措置の状況 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5~15% 		自己都合	
		勤続20年	20.445月分
		勤続25年	29.145月分
		勤続35年	41.325月分
		最高限度額	49.59月分
	(参考: 退職手当の支給率は、国と同率です)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算) 		

※人事行政の運営等の状況について、詳しくは村ホームページをご覧ください。

復興を目指す歩み ~平成29年度に実施した主な施策~

平成29年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は146億3,641万円で歳出全体の約8割を占めました。平成29年度に村が行った主な施策について、紹介します。

深谷地区復興拠点整備事業

… 19億6,396万円



学校等再開整備事業

… 19億1,746万円



福島県営農再開支援事業

… 3億3,883万円



スポーツ公園整備事業

… 17億2,877万円



飯館村の財政状況指標

平成29年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。

平成29年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯館村の財政状況
一般会計での赤字の程度 (実質赤字比率)	15%	算定なし
全会計での赤字の程度 (連結実質赤字比率)	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	6.1%
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合 (将来負担比率)	350%	算定なし



謝辞を述べる安達さん

笑って過ごす敬老の時間
 9月9日、飯館中学校体育館で敬老会が開催され、約350人の方が出席され、ふるさと飯館村で長寿の祝いを迎えました。今年の敬老会に招待されたのは75歳以上の1,071人。村、県老人クラブなどから祝いの品が贈られました。
 会では、安達正之さん(前田)が参加者を代表し「村で敬老会が行われることが本当に嬉しい。いつまでも笑顔で過ごしていきたい」と謝辞を述べました。



千昌夫さんがステージに登場。往年の名曲にユーモアたっぷりの話を交え、約1時間聴衆を魅了しました♪



いつまでも元気でいてねー
 までの里のこども園児がダンスを披露。会場に笑顔と元気をプレゼント!



金婚夫妻代表高橋明さん・ウメノさん

互いに寄り添い50年 ～金婚夫妻表彰
 当日は、結婚50年を迎えられた金婚夫妻を表彰！今年度は6組のご夫妻に表彰状と記念品が贈られました。

會田征男さん・ツタ枝さん	ご夫妻	(伊丹沢)
大谷邦彦さん・美恵子さん	ご夫妻	(小宮)
高橋平作さん・ケサ子さん	ご夫妻	(小宮)
高橋孝雄さん・マサ子さん	ご夫妻	(前田・八和木)
高橋 明さん・ウメノさん	ご夫妻	(前田・八和木)
伊藤芳夫さん・やい子さん	ご夫妻	(長泥)

9月3日、村内コミュニティバスが、運行を再開しました。このバスは、村内居住者の移動手段を確保するもので、月曜日から金曜日の週5日間、曜日ごとに4つのコースを巡回します。村内各所を回りますが、停留所は設けず、利用客が希望する場所まで降りできる仕組みです。詳しくは、8月20日号の同封チラシをご覧ください。



村内コミュニティバス
 ご利用ください
 運行初日、いいたてクリニック前で再開式が行われました

**8年ぶりに村内プレー
 村民グラウンドゴルフ**



真新しい人工芝でプレーを楽しんだ参加者の皆さん

8月26日、いいたてスポーツ公園で、村と村老人クラブ連合会が主催するグラウンドゴルフ交流会が行われました。オープンして間もない新しい施設で参加者約100人が腕を競いました。
 当日は、開始直前まで雨が降っていましたが、徐々に天気が回復。さわやかな風が吹く中、プレーを楽しみました。結果については、男子は佐藤明康さん(長泥)、女子は開沼文恵さん(前田)が優勝しました。



夏の風物詩・流しそうめんは婦人会が担当



ライオンズクラブと社会福祉協議会によるバザー



民生児童委員協議会によるカレーライスの振る舞い

**支え合いサポート
 福祉チャリティー祭**
 8月26日、村社会福祉協議会が、いちばん館等を会場に、第1回福祉チャリティー祭を開催しました。
 この日は、村関係団体やボランティア団体が集まり、来場した村民に日頃の活動状況や成果の展示を行いました。会場では、7月に発生した西日本豪雨で被災された方々への募金が行われ、集まったお金は全額が義援金として寄付されました。

渋谷公園通りに鮮やかに咲く いいたてオリンピア



平成28年に商店街に整備された「福島花壇」。「までいライブ」を顕彰する小さな石碑も置かれています

飯舘村のオリジナル品種として開発されたタイタンピカスの新品種「いいたてオリンピア」。特産品化を目指して、「いいたて村の道の駅までい館」のガラスハウスなどで栽培されています。また、震災以降、福島復興支援を行っている渋谷公園通商店街（東京都）でも栽培され、9月2日には開花の便りが届きました。同商店街振興組合の一員で「までい大使」の塚越栄光さんからの便りです。渋谷地区のミニFM局でも栽培されるなど、現地で応援の輪が広がっているということです。



リーフレットは日本語と英語の両面印刷。9月中旬から山津見神社に置かれています

オオカミ天井絵を解説 英語版のリーフレット

平成25年に火災で焼失した山津見神社のオオカミ天井絵は、多くの人の協力で、同28年に復元されました。そのプロジェクトを企画した和歌山大学・加藤久美教授が、経緯を伝えるリーフレットを制作し、9月4日、神社に寄贈しました。リーフレットは片面が英語版で、記事の内容については、村が震災記録誌の誌面を提供しています。加藤教授が村役場を訪れ、「増加していると聞く外国からの来村者にも、天井絵のことを伝えたいと考え制作しました」と菅野村長に完成を報告しました。



秋晴れの下「しらすわグリーンパーク」の野球場で行われた2回戦は、見応えのある投手戦となりました

市町村対抗野球大会 村チームが2回戦に進出

村の野球チームが、第12回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場しました。9月17日の対浪江町戦で5対2と勝利し、2回戦に進出した村チーム。同23日に行われた2回戦の対石川町戦は、投手戦となりました。1回戦でも好投した草野隆洸投手が粘り強く相手打線を抑え、野手も好プレーで援護しましたが、数少ないチャンスを得点に結びつけた石川町に、惜しくも0対2で敗れました。スタンドの応援席も、僅差の敗戦を惜しみながら、選手の健闘を拍手で讃えていました。

みちのくマラソン 間寛平さんらが松川仮設へ

お笑い芸人の間寛平さんを中心に、吉本興業の芸人達がタスキをつないで、東北の被災地に元気を届ける「みちのくマラソン」。今年は8月15日に岩手県山田町から、福島県庁を目指してスタートしました。一行が、松川第一応急仮設住宅に立ち寄ったのは、最終日の同21日。出迎えた住民たちに寛平さんらが気さくに話しかけ、楽しい交流が始まりました。「みちのくマラソン」は昨年も開業したばかりの村の道の駅を訪問しており、2年続けて村に元気を届けていただきました。



村公式キャラクター「イイタネちゃん」も駆け付けて寛平さんと1年ぶりの再会を喜び合いました

飯舘村野球連盟理事長杯 いいたて球場で開催

8月26日、同12日にオープンしたばかりの「いいたて球場」で、「平成30年飯舘村野球連盟理事長杯」が開催されました。この大会は、震災後も村外の球場で開催を続けていて、今回晴れて8年ぶりに村内で開催されることになりました。開会式では、星貴弘理事長（上飯樋）が「野球好きが集まり、また村で試合ができる」と喜びを語り、菅野村長が始球式を行いました。試合はトーナメント戦で、地区や職場でつくる6チームが熱戦を繰り広げ、ファイターズが優勝しました。



開会式の選手宣誓。選手らはすがすがしい笑顔を見せながら故郷でのプレーを楽しんでいました

長泥地区の環境再生事業 住民と関係機関の協力を確認

8月27日、村役場で「第1回飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会」が開かれました。この協議会は、除去土壌等を処理し安全に再生利用することを目的とした「環境再生事業」について、環境省と村が、住民・有識者の率直な意見を聴取するために設置されました。住民からは「里山再生につなげたい」「現場を確認したい」と意見が出され、有識者からも住民参加型の取り組みを支持する声がありました。長泥地区では、事業の本格化に向けて、今年度から実証事業が実施される予定です。



村民8人・有識者5人の委員が、率直に意見を述べ合いました。第2回会議は9月18日に開かれました

身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしております。

つながるアルバム

うどんを打って味わって 地区内の実証事業を振り返りました



9月2日、大久保・外内行政区の集会所に約40人の住民が集まり、協力してうどんを打ち、皆で味わいました。うどんを打った小麦粉の小麦や、つゆに使ったエゴマは、福島大学の学生らが地区で実証栽培したもの。食後には実証の解説や報告も行われました。



(右上)うどん打ちを講習する地元の赤石澤武光さん (左上)小麦の香る打ちたてのうどんに皆大満足 (右下)小麦栽培の実証について報告する金子信博福島大学教授 (左下)実証栽培したエゴマで試作した食用油やスイーツを披露する学生達



あづまっぺで ほのぼの夏祭り



東北高校（宮城県）の生徒や福島大学の学生も来場し、出し物などで祭りを盛り上げました。イイタネちゃんも、記念撮影に応じるなど、来場者の人気を集めていました

9月5日、松川第一応急仮設住宅内のサポートセンター「あづまっぺ」が夏祭りを開催し、約40人が、流しそうめんやスイカ割りなどを楽しみました。夏祭りには、すでに退去し帰村した人も来場し、互いに支え合って過ごした日々を、和やかに語り合う様子も見られました。



ちよっと昔の いったて ライフ その5



家族や結が力を合わせた稲刈り。うれしい収穫ですが重労働でもありました

参考／写真転載 飯館村史第3巻「民俗」

感謝と協力の稲刈り

去年の米でどぶろくをつくって供えたり、あるいは新しい稲を奉納したり、お神酒を開いたり。稲刈りは、そうした神事を行ってから始められたそうです。刈った稲は、4つかみで1把、6把でひと束。腰に結わえた「すぐりワラ」でまるつて（くくつて）いきました。

まるつた稲は、1段もしくは2段のハセギに掛けました。1本棒に横木を結わえた稲掛けは、ツクシとかテンガイとも呼びました。

稲が乾いたら、エノメエ（家の前）に運び、今度は千歯でこいたり、粉打ちをしたり。力があるので、男達の結（ゆい）が活躍しました。粉ぶるいでふるって、唐箕（とうみ）でおおつて、俵に入れる頃には夜も更けました。作業の間にこぼれた粉も、ていねいに集めました。夜食にはイモやカボチャが出ました。

稲を刈ったら「かつきりぼたもち」、こき終ったら「庭ばらいたもち」をつくりました。新しいもち米でおふかしをつくり、ワラでつくった「ツツコ」に入れて、田の神に供える地区もありました。冷害による不作も多かった時代。無事に稲刈りができた時の喜びは、格別に大きかったことでしょう。

新米の季節、時代は変われど、感謝の気持ちもかみしめて、おいしいご飯をいただきます。

第35回 いったて村文化祭

とき 10月27日(土) 午前9時30分～午後4時
10月28日(日) 午前9時30分～正午

ところ 飯館中学校 草野・飯樋・白石小学校

16団体が音楽や舞踊、伝統芸能などを披露するステージ発表は、1日目の27日(土)に行います。

幅広い世代が制作した多彩なジャンルの作品が並ぶ「総合文化展」は、27日(土)・28日(日)の両日展示します。

今年は何んな熱演・力作が登場するのでしょうか。詳細はチラシでお知らせします。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

大倉の神楽・モノマネショー・ジャグリング
ステージショーも盛りだくさん
ふわふわドーム・綿菓子・縁日コーナー
キッズエリアも楽しいよ!

村産の花販売会

までい牛 無料
までい牛の焼肉丼・牛串
までい牛ソーセージ

ラオス食堂 無料
ラオス料理を味わおう!

焼きうどん・玉こんにゃく等の振る舞いも 無料

10月21日 午前10時～午後3時
交流センター「ふれ愛館」

実りの秋！みんな集まれ秋祭り

いったて 秋祭り 10/21

詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください！
※9/26現在の情報です。
都合により変更になる場合もございます。ご了承ください。

主催 飯館秋祭り実行委員会
問い合わせ ☎0244-26-7957(村商工会内)



●アプリのある生活はじめませんか

村では、村民の皆さんへの迅速な情報提供事業として「イイタネちゃんお知らせアプリ」を配信しています。皆さんがお持ちのスマートフォンやタブレットに無料でダウンロードして利用できます。

●アプリのインストール、利用方法について

- ①お使いのスマートフォン、タブレットのQRコードリーダーを起動して、右のQRコードを読み込んでください。
- ②「ダウンロード」または「入手」でアプリを無料でダウンロードすることができます。



▲Android/iOS 対応QRコード

問 総務課企画係 (☎ 0244-42-1613)

入札結果をお知らせします

入札日／8月24日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯館村消防団第二分団機動部屯所 ホース乾燥塔建設工事	7,884,000円	(株)古俣工務店 川俣支店	平成30年12月中旬
特定復興再生拠点エリア基本計画策定業務	8,640,000円	(株)福建コンサルタント	平成31年3月下旬
飯館村個体一元化管理システム運用実証事業	36,180,000円	(株)富士通エフサス	平成30年12月下旬
村道除草事業	1,609,200円	(有)福相建設	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村深谷地内)	1,807,000円	深谷行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村関沢地内)	2,498,000円	関沢行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村佐須地内)	2,619,000円	佐須行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村宮内地内)	2,985,000円	宮内行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村前田・八和木地内)	1,824,000円	前田・八和木行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村大久保・外内地内)	2,661,000円	大久保・外内行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村上飯樋地内)	2,453,000円	上飯樋行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村関根・松塚地内)	1,401,000円	関根・松塚行政区	平成30年12月下旬
住民参加型環境保全事業(飯館村前田地内)	1,868,000円	前田行政区	平成30年12月下旬
白石第2住宅改修工事	90,180,000円	関場建設(株)	平成31年3月下旬
白石第2住宅改修工事監理業務委託	3,088,800円	(株)邑建築事務所	平成31年3月下旬
農業集落排水草野地区脱水施設更新工事	27,540,000円	荏原実業(株)東北営業所	平成31年3月上旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2) 農業用排水施設等整備工事(松塚字松塚地内他)	145,800,000円	濱田建設工業(株)	平成31年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(揚水場補修)(伊丹沢字山田地内)	11,286,000円	(株)トーカン	平成31年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(揚水場補修)(伊丹沢字山田地内)	10,260,000円	(株)トーカン	平成31年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)(飯樋字町地内)	56,700,000円	日本自動機工(株)東北支店	平成31年3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯館西部その1) 農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)(前田字福田地内他)	21,600,000円	日本自動機工(株)東北支店	平成31年3月下旬
介護保険システム改修業務	1,998,000円	(株)福島県中央計算センター	平成30年12月下旬



新しい年、オリジナル年賀状で いいたて村を届けてみませんか。

今年も飯館村オリジナルデザイン年賀はがきが販売されます。通常の年賀はがきより**5円安い57円**で購入できます。大切な人へ、新年のあいさつと一緒に、飯館村を届けてみてはいかがでしょうか。

- 販売開始日：11月1日(木)
- 販売場所：福島県内の全ての郵便局(簡易郵便局及び切手類販売所を除く。)
- 売 価：57円 ※通信販売は行いません。
※村役場では販売しませんので、ご注意ください。

年賀状は いいたて村で。



9月の村の動きと主なできごと

- 1日・「未来への翼」北欧研修 第1回事後研修会(飯野学習センター)
- 2日・市町村対抗福島県軟式野球大会・ソフトボール大会 合同壮行会(交流センター「ふれ愛館」)
- 3日・コミュニティバス 村内運行スタート(いいたてクリニック前)
- 4～14日・9月議会定例会(村役場本庁議場)
- 8日・沖繩までの旅 第1回事後研修会(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(松川事務所)
- 9日・平成30年飯館村敬老会(飯館中学校体育館)
- ・佐須地区基盤整備促進事業説明会(佐須公民館)
- 12日・第3回平成30年飯館秋祭り実行委員会(飯館村商工会館)
- 17日・第12回市町村対抗福島県軟式野球大会 1回戦・対浪江町戦(本宮市・しらさわグリーンパーク)
- ・明治大学農学部及び農場との協力協定締結式(村役場本庁)
- 18日・第2回特定復興再生拠点区域(長泥)整備推進会議(地域活性化センターいちばん館)
- ・学校運営協議会(飯館中学校)
- 20日・第10回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- 22・23日・いいたてこどもキャンプ(大玉村・フォレストパーク)
- 23日・第12回市町村対抗福島県軟式野球大会 2回戦・対石川町戦(本宮市・しらさわグリーンパーク)
- 26日・定例教育委員会(村役場本庁)
- ・第7回スポーツ公園利活用準備委員会(いいたてスポーツ公園管理棟)
- 28日・平成30年度飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 30日・第1回相馬復興サイクリング(相馬市・村大倉地区)

佐藤 キミノさん (大久保・外内)



米とタバコを生産する農家でした。平成20年に夫を亡くして一人暮らしに。仮設住宅での避難生活を経て、現在は息子家族が住む南相馬市で暮らしています。

母屋は壊さないのでおきたかったのだけれど、もともと二人で住んでいたから、後々の維持が大変になるだろう：と、なって壊しました。代わりに葉タバコの乾燥場を残して、そこにコタツを置いて、村に帰った時には使っています。息子がね、いろいろ言いつつも、やさしくやってくれたんだ。

でも美味しくないので、大きい鍋で作って、親しい人と、互いに行ったりもったり。おしゃべりしていると、私は普通にしゃべっているのに、みんなが面白がって笑い合ってたね。引越しが決まった時は、仲良くしてたおばあさんに「キミノさん出るって聞いて、風呂場でおおい泣いた：」と言われて、それ聞いた時は私も泣いた。

大雷神社のお祭りもよかったです。踊りも踊ったね。外内の人は、踊りが手に乗っているの。「おいとこ」は10月にも福島市で芸能発表に出るから、今も集会所に集まって、練習しているんだよ。私が踊り始めたのは結婚してから。じいちゃん(夫)は踊らなかつたけど、「時間だから行かねど」って送り出してくれた。19歳で結婚したの。成人式の時にはお腹に子どもがいたんだよ。息子家族はすぐ近くに住んでいて、犬の散歩で毎日寄ってくる。敬老の日には、前の晩から出かけるように言われて、当日の犬の散歩の時も「いてよ」と念を押されて、息子夫婦と孫と嫁の両親とで食事に連れて行ってもらった。みんな、やさしいね。息子も大人だ。じつちになつた(孫ができた)んだからねえ。

心にしみる名言集

こころのぽけっと

今年の敬老会に、歌手の千昌夫さんをお呼びしました。皆さんに、大いに笑ってもらい、喜ばれたところ。その折、村出身者で千さんを紹介してくれた方から「作曲家 遠藤実名言集」なる冊子をいただきました。「高校生三年生」「星影のワルツ」「せんせい」「こまつちやうな」「北国の春」「くちなしの花」などのいずれも名曲を、その生涯で、5,000曲以上世に送り出し、国民栄誉賞をいただいた方です。「夢あり、歌あり、明日がある」「歌は人生の友」など作曲家ならではの言葉もありましたが、その他多くの人生訓がびっしり載っている素晴らしい冊子でした。

「人生はあせることもなく 欲ばることもなく 妬むこともなく ひとすら天から与えられた道を歩くことではないのだと思う」とか「10・20・30代は汗で、40・50・60代は才能で、70・80・90代は人格で」というのもありました。また、「前向きな心は人の痛みが分かり 後ろ向きな心は自己中心にかたよる」など、心にしみる言葉、心しなければならぬ言葉がびっしりの冊子でした。

今、私たちは思ってもみなかった大変な境遇に置かれているのですが、その中であって、「いかに一人ひとりの心の持ち方が大切か」というのにも気づかされた、正に名言集でした。

「本当のことを言うのは、勇気がいるが、いつも本当のことを言える自分でありたい」「言葉には責任がある。一度口から外に出たら、二度と戻せないから」というのもあったことを、自戒を含めてつけ加えさせていただきます。

平成30年9月13日 飯館村長 菅野 典雄



結婚おめでとう

氏名	出身地
三浦 勝幸	深谷
大堀 智世	会津若松市

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
細川 勝夫	81	上飯樋
長谷川 長治	92	宮内
大東 正男	88	宮内
菅野 一典	56	蕨平
田中 初雄	84	八木沢・芦原
大久保 健造	67	宮内
高野 みよの	94	八木沢・芦原
深見 功	83	上飯樋



(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

8月1日~31日までの人口動態	
人口	今月(前月比)
男	2867人 (-5)
女	2882人 (+2)
計	5749人 (-3)
世帯数	1818戸 (±0)
転入	9人
転出	5人
出生	2人
死亡	9人
(住民基本台帳人口)	

おしえてくんちえ! 堀先生

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

相談

「認知症」と聞くだけで不安を感じます。

堀先生

認知症という言葉を知ると、構えてしまう方もいるかもしれません。でも、先日、認知症について心あたまる話を聞きました。

ある認知症が進んだ男性が、ついに施設に入ることになりました。長年連れ添った妻のことも、誰だか分からなくなっていました。そのことを妻は、悲しく思いました。そんな時に、「一番好きな人はだれ?」と聞かれたその男性は、間違いなく妻のことを指さしたそうです。

認知症になると記憶が弱くなります。しかし、感情や雰囲気を感じる力は残っているのです。きっと奥さんの持つあたたかさは、感じられたのでしょう。



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

HOPES

ホープス セカンド

2nd

ご主人がアクセサリーの問屋をしていた関係で、自身も東京都中野区のファッションビル「中野ブロードウェイ」で、2年前までアクセサリーのお店を開いていた前野さん。今年の6月から村に住み、「いいたてホーム」で働いています。

前野さんは、アクセサリー店のお客様から飯館村のことを聞き、福島原発の電力を使っていた二人として、「自分に何かできることはないか」と、ずっと考えていたそうです。現状を

ここで「自分にできること」を 前野 かおるさん（伊丹沢）



神奈川県生まれ。東京都内でご主人の事業を手伝いながら、4人の娘を育てました。今年6月から村に住み、介護職員として特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で働いています。



村の新しい花「いいたてオリンピア」をモチーフにイヤリングを自作した前野さん。そのことに寄せて東京の友人が贈ってくれた句を大切にしています。「花一輪 無限の豊かさ 飯館村」

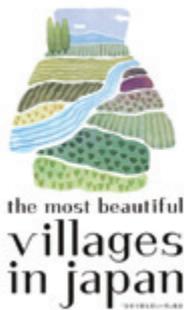
知りたいと、3年前には、ご主人と村を訪れました。「家も道路もそのままなのに、避難の村には誰もいなくて」。同時に村役場の飯野出張所（当時）も訪れ、「いいたてホーム」の職員が不足していることも知りました。その1年前に介護職の資格を取っていたこともあり、「家族の理解を得て村に来れたら」と考えました。そして、子育てが一段落した今年、前野さんの思いは叶いました。

「皆さんがとてもよくしてくださるので。仕事は施設と相談して、できる範囲からのスタート。「役に立っているかは分かりませんが、（施設の）懐の深さが、居心地のよさにつながっています」。そして「村には東京にないものがたくさんある」と言います。「こんなにきれいな空、素晴らしい樹木」。自然の力を感じるそうです。「3年間はここで頑張りたい」。この取材日には、ご主人が友人と共に来村。家族の応援も、ずっと前野さんを支えています。

〈編集後記〉

●「おはようー！ごち、ごちー！」敬老会の朝、会場入り口では、行政区毎にお出迎え。気心知れた地元の方が敬老の皆さんを席まで声をかけなが優しくエスコート。顔見知りだからこそ出来る、「までいなおもてなし」にこちらもほっこりします。会の終わりに参加者がぼつり。「こんなに楽しい敬老会、長生きしてよかった」。皆さん、ずっと長生きしてくださいね。（木幡）

● 大久保・外内地区の集会で美味いうどんをいただきました。以前、村のお年寄りから、「小麦をひいて打ったうどんの香りが大好きだったの」と聞いていた話を、「これかー」と思い出しながら。たくさんの方が「うどん」になった過程もまた特別な味わいに。「何も言わないけど、石臼で5kgの粉をひいて来たのは長正区長なんだ」と参加者の一人がこっそり教えてくれました。（巨星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。